



しっかり自分をもって、負けずに頑張りたい

船木さんは猿払村出身で、郵政省職員として42年間浜鬼志別郵便局に勤められたそうです。「最初は仕事内容も分からず、とても大変でしたが、局長さんや周りの方に助けいただきながら、次第に仕事に慣れ、目標を達成できるようになるまで成長していました」と当時を振り返ります。そんな船木さんは多趣味で、読書・園芸・クイズを解くことなどが好きだそうです。特にクイズは見つければ何でも解いているようで、「分からない漢字や英語が出てきたときはまず辞書で調べます。それでも分からない時は孫などに聞いて解いていて、とても楽しいです」と、笑顔でお話いただきました。また、昔から何かを勉強することが好きで、趣味の園芸では苗や種を買って育てるのではなく、食べた物の種や貰った苗を一か

ら育てているのだそうです。

猿払村について、船木さんは「浜がきれいで、景色もきれいで、空気もきれいなので、住みやすく、暮らしやすい村だと思っています」と語ります。逆に子どもたちが遊べる場所が少ないことと、住民どうしの挨拶など、声を掛け合うことが減ってきており、寂しいと感じているとお話いただきました。

最後に猿払村の未来を担う若者へ向けて、「村の歴史や自然をよく知り、将来の猿払村の力となってほしいです」と語り、そして「良いことは良い、悪いことは悪いとしっかりと意見を述べられる自分をもって、自分を大切にしながら前向きに頑張りたいです」と優しいエールをいただきました。

ふなき  
船木 イネ

昭和7(1932)年生まれ。読書や園芸・クイズを解くことなどが趣味。家の中で様々な植物を育てる。苗を買うのではなく、食べた物の種などから育てている。

時代の立役者と  
未来を担う若者

# 紡ぐ時代

つながる未来

今と未来のインタビュー

これからも努力し続けていきたい

張間さんはバドミントン部と合唱委員会・保体委員会に所属しており、バドミントン部では副部長を務めていました。「最初は部員から意見が出ず、チームとしてまとまりがなかったのですが、そんな状態を変えるために、一人ずつ紙に意見を書いてもらうようにしてみると、次第に意見が出るようになり、チームとしてもまとまりが出てきてこの経験から自分も成長できました」と話してくれました。

学校生活で一番の思い出は修学旅行の自主研修とのこと。「クラスメイトと一緒に色々なところに行けたことがとても楽しく、思い出に残っています」と笑顔で話してくれました。そんな張間さんが今一番力を入れていることは、勉強で「最近は何かに慣れるために、色々

な問題をたくさん解くように心掛けています」と教えてくれました。また、一年生の自分と比べて成長したことは継続力が身についたところだと教えてくれました。一年生の頃は、すぐ諦めてしまいがちでしたが、これではダメだと思い、部活動や日々の勉強をとおして、毎日少しずつ取り組むようにし、その時間を少しずつ増やすことで身につけていったそうです。

張間さんは星を見るのが好きで、猿払村の人や街灯が少ないことで、星がキレイに見えるところが好きとのこと。

最後に将来の自分に向けて、『身につけた継続する力を発揮して、諦めず努力をし続け、頑張りたいです』とエールを送りました。



はりま  
あこ  
張間 愛子

拓心中学校3年生。音楽を聴くことと、バドミントンをするのが好きで、音楽は特にバンドをよく聴いている。

## 地域とつながる 施設を目指して

小規模多機能型居宅介護施設「楽楽心(ららはーと)」での日常風景やイベントの様子をお伝えします。

■地域交流課 ☎2-2722



メイクセラピー

昨年好評だったメイクセラピーを今年も行いました。利用者様はお気に入りの洋服に着替え職員にメイクをしてもらい、ヘアセットは知来別の「ヘアアウル」様にして頂き記念撮影を行いました。とても華やかに変身しました。



節分

無病息災を願い豆の代わりにカラーボールで鬼退治をしました。利用者様も職員も一生懸命、鬼にボールを投げて頑張りました。また、楽楽心特製の恵方巻きをおいしくいただきました。



クリスマス会

楽楽心の運営推進協議会委員の方々にも参加していただき、クリスマス会を行いました。ババ抜きなどのゲームで盛り上がり、今年もサンタクロスからプレゼントを受け取り笑いの絶えないクリスマス会になりました。



年越しそばの提供

楽楽心では毎年、「つなぎ処えん」様の御厚意により打ち立てのお蕎麦で年越しをさせていただいております。今年も一年の締めくりに美味しいお蕎麦をいただきました。「つなぎ処えん」様ありがとうございました。

